

令和3年度当初予算案 (令和2年度2月補正含む)

主要事項説明資料

教育委員会

主要事項説明資料目次

教 育 委 員 会

ページ	事業名	担当課
1	スマートスクール推進事業費	学 校 教 育 課 特 別 支 援 教 育 課 高 校 教 育 課
2	次世代型学力・学習状況調査研究事業費	学 校 教 育 課
3	子どものための京都式少人数教育推進費	教 職 員 人 事 課 学 校 教 育 課
4	効果の上がる学力対策事業費	学 校 教 育 課
5	新しい学び総合推進事業費	学 校 教 育 課 高 校 教 育 課 社 会 教 育 課
6	京都グローバル人づくり事業費	教 職 員 人 事 課 学 校 教 育 課 高 校 教 育 課
7	府立高校生夢チャレンジ留学支援事業費	高 校 教 育 課
8	確かな学力を身につけるための支援事業費	高 校 教 育 課
9	夢に応えられる府立高校づくり事業費	高 校 教 育 課
10	府立高校産業教育充実事業費	高 校 教 育 課
11	特別支援教育充実事業費	教 職 員 人 事 課 特 別 支 援 教 育 課
12	府立高校特別支援教育支援員配置事業費	教 職 員 人 事 課 高 校 教 育 課 特 別 支 援 教 育 課
13	羽ばたけ就労支援事業費	特 別 支 援 教 育 課
14	特別支援学校職業教育等充実事業費	教 職 員 企 画 課 特 別 支 援 教 育 課
15	特別支援教育総合推進事業費	特 別 支 援 教 育 課 高 校 教 育 課
16	幼児教育の質の向上・課題解決事業費	学 校 教 育 課 文 学 教 育 課 こども・青少年総合対策室
17	幼児教育施設支援体制整備事業費	学 校 教 育 課 保 健 体 育 課
18	子どもの未来を守る事業費	学 校 教 育 課 高 校 教 育 課 社 会 教 育 課
19	いじめ防止・不登校支援等総合推進事業費	文 学 教 育 課 高 校 教 育 課 社 会 教 育 課

主要事項説明資料目次

教 育 委 員 会

ページ	事業名	担当課
20	地域一体型部活動推進事業費	学 校 教 育 課 保 健 体 育 課
21	京都府版マスタース大会開催費	保 健 体 育 課
22	京のアスリート育成・強化総合推進費	保 健 体 育 課
23	高校生等修学支援事業費	高 校 教 育 課
24	教職員の働き方改革推進費	教 職 員 企 画 課 教 学 職 員 企 画 課 高 校 教 育 課 保 健 体 育 課
25	府立学校施設整備費	管 理 課
26	コミュニティ・スクール推進費	学 校 教 育 課 特 別 支 援 教 育 課 高 校 教 育 課
27	子どものための地域連携事業費	社 会 教 育 課
28	家庭教育支援事業費	社 会 教 育 課
29	高校生伝統文化事業費	高 校 教 育 課
30	高校生「京の文化力」推進事業費	高 校 教 育 課
31	文化財保存活用支援事業費	文 化 政 策 室 文 化 芸 術 課 文 化 財 保 護 課
32	文化財保護強化事業費	文 化 政 策 室 文 化 財 保 護 課
33	歴史的建造物等保存伝承事業費	文 化 財 保 護 課
34	新型コロナウイルス感染症対策費	総 務 企 画 課 管 理 職 員 企 画 課 教 学 職 員 企 画 課 特 別 支 援 教 育 課 高 校 教 育 課 保 健 体 育 課

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	スマートスクール推進事業費		新規・継続の別		一部新規
	714,600千円 (うち2月補正 469,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源
予算額		480,000	-	-	234,600
事業内容	<p>1 目的 情報活用能力の向上や、各教科等におけるICTを活用した学習活動の充実により新しい時代に必要とされる資質を身に付けるため、府内公立学校におけるICT利活用を推進</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 府立学校における生徒用1人1台タブレット端末の導入等 新規</p> <p>① 1人1台端末の全府立高校での導入に向けた検証 5校程度(※1)で、BYOD(※2)によりタブレット端末を先行導入し、学校現場における効果的な運用に向けた検証を実施 ※1 鴨沂高校、洛北高校、鳥羽高校、嵯峨野高校、峰山高校 ※2 Bring Your Own Device: 生徒個人の購入端末の持ち込み等による導入</p> <p>② 低所得世帯等の生徒への支援<2月補正> 生徒が利用するためのタブレット端末やモバイルルーターを整備(別途、高校は「奨学のための給付金」、特別支援学校は「就学奨励費」により、オンライン学習に必要な通信費相当額を補助)</p> <p>(2) 学校現場でのICT利活用推進に向けた支援 拡充</p> <p>① 「ICT利活用サポートセンター」による授業支援 民間企業やNPO、大学等が参画する「ICT利活用サポートセンター」においてICT専門家と連携し、ICTを活用した授業実施のための助言・支援体制を強化</p> <p>② 新しい授業づくりリーダー教員育成研修 ICT利活用を先導的に進める市町(組合)立学校及び府立学校の教員を育成</p> <p>(3) 府立学校における教員用タブレット端末の継続整備等 一部新規 令和元年度から継続している教員用タブレット端末の整備や、令和2年度までに整備完了した端末・ネットワークの運用管理、保守等を実施</p>				
担当課名	学校教育課 ICT教育推進室 特別支援教育課 企画調整係 高校教育課 振興係	電話番号		075-414-5692 075-414-5834 075-414-5859	

目的
対象
方法等

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	次世代型学力・学習状況調査 研究事業費		新規・ 継続の別	新 規	
予算額	12,000千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		-	-	-	12,000
事業内容	<p>1 目 的</p> <p>学校のICT環境が整備され学習手法も変化していることから、 現行の紙ベースで実施してきた府学力診断テストをCBT（※1）化 するとともに、学力の伸びが把握可能なIRT（※2）により、児童 生徒の学力向上に繋げる実証研究を実施</p> <p>※1 <u>Computer Based Testing</u> : コンピュータやタブレットを用いて行うテスト方式</p> <p>※2 <u>Item Response Theory</u> : 問題や受験者が異なる場合であっても、問題の難易度をものさしと して調査結果を比較可能にする理論（TOEFLや英検等で活用）</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) IRTとパネルデータ（※3）を組み合わせた学力・学習状況調査実証研究 児童生徒が自らの学力の伸びを実感し、適切な学習方法や学習に 向かう態度を習得・改善するとともに、教員が客観的データに基づ いて改善された効果的な指導・支援を行うことにより学力と非認知 能力を向上</p> <p>※3 パネルデータ : 児童生徒一人一人の変化を継続的に把握する手法</p> <p>(2) CBTシステム構築・活用実証研究 GIGAスクール構想で配備された1人1台端末を用いて児童生徒 の学力や学習状況を測定し、結果の早期活用と個に応じた指導の充実 につなげるCBTシステムを構築</p>				
担当課名	学 校 教 育 課 指 導 第 1 係	電話番号	075-414-5833		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	子どものための京都式 少人数教育推進費		新規・ 継続の別	継 続								
予算額	4,014,868千円	国庫	起債	その他	一般財源							
		1,112,877	-	-	2,901,991							
事業内容 （目的） （対象） （方法等）	1 目 的 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させる。											
	2 内 容 (1) 京の子ども・少人数教育推進費											
	<table border="1"> <tr> <td>予 算 額</td> <td>3,716,201千円</td> </tr> </table>		予 算 額	3,716,201千円								
	予 算 額	3,716,201千円										
	○小学校3～6年生で30人程度の学級編制が可能となるよう教員を配置 ○配置した定数を活用し、市町村教育委員会が学校や児童生徒の状況に応じて少人数授業・チームティーチング・少人数学級を選択して実施											
	<table border="1"> <tr> <td>少人数授業</td> <td>児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開</td> </tr> <tr> <td>チームティーチング</td> <td>学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開</td> </tr> <tr> <td>少人数学級</td> <td>市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制</td> </tr> </table>					少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開	チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開	少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制	
	少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開										
	チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開										
	少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制										
	中学校少人数教育推進費 ○全ての中学校で35人を超える学級規模の解消 又は ○英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実が可能											
(2) 小学校低学年指導充実費												
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">配置学級数</td> <td>1年</td> <td>111学級</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>119学級</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> <td>298,667千円</td> </tr> </table>		配置学級数	1年	111学級	2年	119学級	予 算 額		298,667千円			
配置学級数	1年		111学級									
	2年	119学級										
予 算 額		298,667千円										
○小学校1・2年生で、2人の教員による指導を実施 ○配置については、30人を超える学級を基本とするが、各学校の状況等に応じて弾力的に運用												
担当課名	教職員人事課 人 事 係 学校教育課 指 導 第 1 係		電話番号	075-414-5789 075-414-5833								

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	効果の上がる学力対策事業費			新規・継続の別	継 続
	116,758千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
予算額		39,803	—	—	76,955
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	1 目 的 児童生徒に確かな学力が身につくよう、基礎基本の徹底や個別課題に対応するための取組を充実し、学力向上に向けた実践的・効果的な支援を実施する。				
	2 内 容 (単位：千円)				
		事 項	内 容		事業費
		小・中学校学力診断テストの実施	府内小中学校の児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握することで、個々に対応した指導及び授業改善を実施		23,070
			小学校	中学校	
			対象：第4学年 教科：国語・算数	対象：第1・2学年 教科：国語・数学、英語(中2)	
		小学生個別補充学習 (ジュニア・わくわくスタ) 拡充	学習内容が高度化する小学4・5年生段階のつまずきを解消するための個別補充学習を実施 (教科：国語、算数等)		27,407
		中1振り返り集中学習「ふりスタ」 拡充	中学1年生の早期に基礎基本を徹底し、学習のつまずきの解消を図るため、補充学習を実施 (教科：国語、算数等)		24,952
		中2学力アップ集中講座 拡充	中学2年生段階における基礎学力の定着と、発展学習のための集中学習を実施 (教科：国語、数学等)		24,238
		中学生読解力向上対策事業	「読む力」「書く力」を実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成するため、中学生を対象とした小論文グランプリ等を実施		1,000
	大学の先生に学ぼう体験事業	大学と連携を図り、未来に向かって夢と希望を持って学ぼうとする児童生徒を育成するため、出前や受け入れによる体験授業等を実施		4,000	
	理科教育推進事業	理科の観察実験の機会確保と質の向上に向けた理科支援員の配置や大学教授等による指導助言を実施		7,200	
	学びの深化プロジェクト	学校独自の研究計画による創意ある教育活動を行う研究校の指定等を実施し、その成果の波及により府全体の学力向上を推進		4,891	
		計		116,758	
担当課名	学校教育課	指導第1係 指導第2係	電話番号	075-414-5833 075-414-5840	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	新しい学び総合推進事業費			新規・継続の別	一部新規
予算額	22,539千円	国庫	起債	その他	一般財源
		1,951	—	—	20,588
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	1 目的 社会の急激な変化や新学習指導要領の全面実施を見据え、子どもたちが未来の創り手になるために必要な資質・能力を着実に身につけることができるよう、家庭や地域社会等と連携を図りながら総合的な施策を推進する。				
	2 内 容 (単位：千円)				
	事 項		内 容		事業費
	次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業		児童生徒の英語4技能をバランス良く育成するため、市町村や地元企業と連携し、小学校から高校までの一貫した英語教育を実施		1,000
	未来を拓く学校づくり推進事業		「認知能力」と「非認知能力」をともにバランスよく育むため、プログラムの作成等の実践研究を府内中学校区で実施		2,300
	PISA型読解力育成事業等 新規		子どもたちが将来どのような場面に直面したとしても発揮できるような、確かな読解力の育成に向けた実践研究を府内中学校で実施		1,950
	課題解決型学習推進事業		子どもたちが「学び」と「社会」との接点を実感した上で学び続けるため、府内企業等とタイアップした課題解決型学習を府内中学校で実施		3,300
	文化継承を目的とした地域創生事業 新規		郷土学習を活用しながら社会参画意識を醸成させるため、地元の文化財を題材とした課題解決型学習を府内小学校で実施		3,000
	KY0発見 仕事・文化体験活動推進事業		府内の小・中学校で仕事に関する体験や地域の伝統文化や古典に関する体験活動を実施		8,800
	子どもの読書活動の推進		子ども読書本のしおりコンテストの実施		238
小・中学校等における起業体験推進事業等		起業体験活動を自立して実施するモデルを構築するとともに、域内の学校に起業体験活動を普及する。		1,951	
計				22,539	
担当課名	学校教育課 指導第1係 指導第2係 高校教育課 振興係 社会教育課 社会教育主事	電話番号		075-414-5833 075-414-5840 075-414-5859 075-414-5889	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	京都グローバル人づくり事業費			新規・継続の別	一部新規	
予算額	470,410千円	国庫	起債	その他	一般財源	
		61,250	—	—	409,160	
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 「聞く」、「話す」など、小・中・高校生の英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、高校生の海外留学支援などを通じて、多様な文化を理解し尊重する資質や能力を備え、国際社会で活躍できるグローバルな人材を育成する。					
	2 内容 (単位：千円)					
	事 項		内 容		事業費	
	①英語によるコミュニケーション能力の育成強化				424,530	
	小・中	小学校英語教育推進教員の配置	配置校で英語授業を実施するとともに、公開授業や研修を通じて、小学校英語教育を先導する教員を配置（40名程度）		212,880	
	学 校	英語4技能テストの実施	中学校2年生を対象に英語4技能テストを実施し、英語指導に活用		4,750	
	高 校	英語指導助手の配置	JETプログラムを活用し、全府立高校等に英語指導助手を配置		206,900	
	②高校生の海外留学支援等				41,780	
	府立高校生グローバルチャレンジ事業		オーストラリアアデレード市語学研修（20人） 現地高校での授業受講等の短期留学に助成		4,000	
			英国エディンバラ市語学研修（10人） 友好提携を結ぶ同市で本格的な短期留学に助成		2,500	
海外短期留学チャレンジ（12人） 生徒が自主的に留学先を選び、海外で将来の夢の実現に向けた短期留学に助成			2,400			
学校主催の新しい留学プログラム 開発研究のための留学に助成（40人）			2,400			
府立高校「海外サテライト校」事業		米・豪に2～4箇月程度の中期留学を実施（13人） 現地履修科目を在籍校の履修単位として認定など安心して留学できる環境を確保		7,930		
府立高校生ハイブリッド型留学事業 新規		対面形式とオンライン形式のハイブリッドによる異文化理解と語学の研修を実施		20,000		

事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	事 項	内 容	事業費
	府立高校生グローバル文化カフェ事業	教育旅行・観光訪日外国人との「おもてなし文化交流」を実施 (例) 英語による観光ガイド 京料理等の伝統文化共同体験 等	2,550
	③教員の指導力強化		4,100
	教員向け研修会等の実施	義務教育段階での系統的な英語指導力の向上を図るため、小・中学校教員を対象に合同での研修を実施	3,100
	海外派遣研修の実施	英語教授法に関する知識と実践、異文化に対する知識と理解等を進めるため、教員をオーストラリア等の海外へ派遣し、府内に成果を波及	1,000
計			470,410
担当課名	教職員人事課 人 事 係 教職員人材育成係 学校教育課 指 導 第 1 係 高校教育課 振 興 係	電 話 番 号	075-414-5799 075-414-5784 075-414-5833 075-414-5815

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	府立高校生夢チャレンジ留学支援事業費		新規・ 継続の別	継続				
予算額	4,000千円	国庫	起債	その他	一般財源			
		—	—	4,000	—			
事業内容	<p>1 目的 経済的に困難な状況にありながらも、将来の夢の実現にチャレンジする府立高校生を支援</p> <p>2 支援内容 低所得世帯の府立高校生を対象とした留学支援を実施</p> <table border="1" data-bbox="459 1108 1390 1361"> <thead> <tr> <th>補助対象経費</th> <th>補助上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低所得世帯の府立高校生が参加する留学への参加経費</td> <td>1人当たり40万円</td> </tr> </tbody> </table>				補助対象経費	補助上限額	低所得世帯の府立高校生が参加する留学への参加経費	1人当たり40万円
補助対象経費	補助上限額							
低所得世帯の府立高校生が参加する留学への参加経費	1人当たり40万円							
（目的） （対象） （方法等）								
担当課名	高校教育課 振興係	電話番号	075-414-5815					

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	確かな学力を身につけるための支援事業費		新規・継続の別		継 続	
	国 庫	起 債	その他	一般財源		
予算額	45,184千円		—	—	—	45,184
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	1 目 的 生徒一人一人の能力・個性を伸ばすための学力と、学校生活の基礎・基本の向上と定着を図り、「確かな学力」の学習活動につながる取組を支援する。					
	2 内 容 (単位：千円)					
	事項名		概 要		事業費	
	学力分析					
	学びの基礎診断		学力の状況を把握し、教科指導の充実を図るため、学びの基礎診断の受検料を一部補助		38,143	
	学力向上					
	基礎学力補習		学習習慣の確立、基礎基本の徹底により、生徒の基礎学力の充実を目指す取組を支援		2,840	
	進路補習		生徒の希望進路を実現するため、進学・就職等希望進路に対応したコース別補習の実施や、資格取得等促進に向けた取組を支援		2,506	
	大学連携教育プログラム		高校の企画に適した大学や教授をコーディネートし、魅力ある学習活動を支援		281	
	大学生教育ボランティア活用事業		教職を目指す大学生等をボランティアとして受け入れ、授業補助や個別指導補助として活用		1,414	
担当課名	振 興 係 高 校 教 育 課 指 導 第 1 係 指 導 第 2 係	電話番号		075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	夢に応えられる府立高校づくり事業費		新規・継続の別		一部新規	
	予算額	76,092千円	国庫	起債	その他	一般財源
			24,385	—	—	51,707
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 目的 生徒一人一人に応じた教育と時代の変化に対応した教育の実践により、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、希望進路の実現を図る。					
	2 内 容 (単位:千円)					
	事項名	概要				事業費
	グローバルネットワーク京都	外国語教育に特色のある学校を対象に、国際社会に貢献できるリーダーを育成				5,823
	サイエンスネットワーク京都	理数教育に特色のある学校をネットワーク化しながら、独創的な科学研究ができる人材を育成				7,381
	スペシャリストネットワーク京都	職業学科設置校を対象に、現在の社会・経済構造の変化に対応する真のスペシャリストを育成				4,359
	京都フロンティア校	各校の特色に応じたテーマに基づく「魅力ある学校」づくりを推進				13,273
	コミュニティ・スクールの導入 新規	高校への学校運営協議会制度の本格導入				3,992
	数学オリンピック等チャレンジ事業	数学・科学に対する興味・関心や数学的・科学的なものの方見方や考え方を培うため、京都大学等と連携してコンテスト等を実施				3,009
	京都フレックス学園構想推進事業	府立清明・清新高校におけるきめ細やかな相談体制や支援体制を構築				17,430
	WWLコンソーシアム構築支援事業	イノベティブでグローバルな人材を育成するための先進的なカリキュラムを開発・実践				10,828
スーパーサイエンスハイスクール事業	先進的な理数系教育を実施するカリキュラムを開発・実践				3,128	
地域との協働による高校改革推進事業	地域課題の解決等の探究的な学びの実現に向けて、先進的なカリキュラムを開発・実践				6,869	
担当課名	振興係 指導第1係 指導第2係 高校改革係	電話番号		075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852 075-414-5153		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	府立高校産業教育充実事業費			新規・ 継続の別	新規
予算額	2,125,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
	(うち2月補正 2,100,000千円)	681,000	1,434,000	—	10,000
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	1 目的 府立高校の職業系専門学科において、デジタル化やスマート技術に対応した最新鋭設備の導入や関係機関等と連携した取組の実施により、産業教育の充実を図る。				
	2 内 容 (単位：千円)				
	事 項	内 容		事業費	
	府立高校産業教育デジタル化事業費	地域産業を牽引する人材を育成するため、最先端のデジタル化に対応した産業教育設備を導入		2,100,000 (2月補正)	
	スマート農林水産業実践教育事業費	農林水産業にスマート技術を導入する機器を整備し、地域や企業等と連携した教育実践により、地域創生に資する人材を育成		20,000	
専門的情報人材協働育成事業費	情報系分野の専門学校と連携した一貫カリキュラムの開発等、高・専の実践的な接続モデルの構築により、高度な専門人材を育成		5,000		
合 計				2,125,000	
担当課名	高校教育課	振興係 指導第1係	電話番号	075-414-5859 075-414-5851	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	特別支援教育充実事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	232,368千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		—	—	—	232,368
事業内容	<p>1 目 的</p> <p>小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害等により教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備等を先導的に行うため、非常勤講師を配置し、小・中学校における特別支援教育の充実を図る。</p> <p>※発達障害：LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等</p>				
（ 目 的 ）					
（ 対 象 ）	<p>2 内 容</p> <p>(1) 教員配置</p> <p>発達障害等により教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して、学校全体が組織的、体系的に取り組む体制の充実を図るため、退職教員等を非常勤講師として配置</p>				
（ 方法等 ）	<p>(2) 配置効果</p> <p>○特別支援教育コーディネーターの活動（教育相談や関係機関との連携等）時間の確保</p> <p>○児童生徒一人一人の指導計画・教育支援計画の作成・活用</p> <p>○一人一人の発達障害等の状況に応じた指導の推進</p>				
担当課名	教職員人事課 人事係 特別支援教育課 指導推進係	電話番号		075-414-5799 075-414-5835	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	府立高校特別支援教育支援員配置事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	12,887千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		-	-	-	12,887
事業内容	<p>1 目 的 府立高校に在籍する発達障害等がある生徒への支援体制を整備し、府立高校における特別支援教育の充実を図る。</p> <p>2 内 容 発達障害等のある生徒への支援体制の整備のため、府立高校特別支援教育支援員を配置する。</p>				
目的 対 象 方法等	配置形態	府立高校特別支援教育支援員 【非常勤講師4名程度】			
	活用方法	実習や授業における個別指導 複数の教員による指導 (チームティーチング)			
担当課名	教職員人事課 人事係 高校教育課 指導第1係 特別支援教育課 指導推進係	電話番号		075-414-5799 075-414-5851 075-414-5835	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	羽ばたけ就労支援事業費		新規・継続の別		継 続	
	国 庫	起 債	その他	一般財源		
予算額	3, 1 8 0千円		680	—	—	2, 500
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 目 的 府立特別支援学校児童生徒の職業的自立の促進、就労意欲の向上を目指すことで、企業就労につなげる。</p> <p>2 内 容 外部機関等と連携し、生徒の清掃や接客など4分野の職種別専門的スキルを客観的に評価する京しごと技能検定を実施する。</p> <p>○外部機関と連携した技能検定試験の実施（4分野） 「清掃」・「接客」・「介護」・「パソコン実務」</p> <p>○指導にあたる教員への外部機関による実技指導研修会等の実施</p> <p>○企業等に向けた技能検定発表会等の実施</p>					
担当課名	特別支援教育課 指導推進係		電話番号		075-414-5835	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	特別支援学校職業教育等充実事業費		新規・継続の別		継続	
	国庫	起債	その他	一般財源		
予算額	20,568千円		680	—	—	19,888
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 目的 府立特別支援学校児童生徒の職業的自立を促進し、希望進路を実現するための職業教育及び就労支援の充実を図る。					
	2 内容					
	事業名	内容				事業費
	「ふれあい・心のステーション」事業	全府立特別支援学校が参加し、生徒自らが製作品の販売や実演を行い、府民との交流や企業への理解・啓発を図る (障害者雇用支援月間(9月)に開催)				3,246
	職業教育設備の整備	職業教育内容の充実に向けた作業学習用教材の新規・更新整備(木工・窯業機器等)				5,458
高等部生徒の進路支援事業	進路担当教員が労働等関係機関と連携し、卒業後の進路決定に一層取り組めるよう非常勤講師を配置				11,864	
	計				20,568	
担当課名	教職員企画課 特別支援教育課	企画調整係 指導推進係	電話番号		075-414-5789 075-414-5835	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	特別支援教育総合推進事業費		新規・継続の別		一部新規	
	予算額	23,671千円	国庫	起債	その他	一般財源
			5,414	—	—	18,257
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 発達障害を含む障害のある子ども一人一人の教育ニーズに応じて、自立と社会参加を目指す一貫した特別支援教育を推進する。 特別支援学校における文化スポーツ活動やボランティア活動等を通して、共生社会の実現に向けた地域社会との交流及び理解啓発を推進する。					
	2 内容					
		事業名	内容		事業費	
	地域支援	特別支援教育サポート拠点事業	特別支援教育の拠点となるスーパーサポートセンターにおいて、教員対象の専門的研修や専門家チーム(医師、作業療法士等)による教育相談・支援等を実施		3,828	
		地域等連携推進事業	全特別支援学校に設置する地域支援センターにおいて、専任コーディネーターや巡回相談支援チーム(校医、地域福祉関係者、小中学校教員等)による教育相談・支援を府内各地で実施		3,041	
	研究	特別支援教育実践研究事業	特別支援教育の推進に係る実践研究		3,600	
	特別支援学校	文化スポーツ交流事業	児童生徒による芸術発表やスポーツ交流会等を通して、文化芸術及びスポーツに直接親しむ機会を創出するとともに、地域社会との交流を行う。		4,308	
		ボランティア活動推進事業	大学生教育ボランティアの受入		280	
		医療的ケア体制充実事業	特別支援学校における安心・安全な医療的ケア実施体制を整備するため、医療機関等と連携した喀痰吸引等研修の開催や運営組織を設置		4,114	
		地域共生型支援学校推進事業	地域共生型の特別支援学校実現のため、子ども、保護者や地域住民とのネットワークづくりを促進		200	
コミュニティ・スクールの導入 新規		特別支援学校への学校運営協議会制度の本格導入		1,300		
高校	高等学校における特別支援教育の充実	聴覚障害のある生徒に対して学習補助システムを活用した授業を実施		3,000		
担当課名	特別支援教育課 高校教育課	指導推進係 指導第1係	電話番号	075-414-5835 075-414-5851		

令和3年度当初予算案主要事項(令和2年度2月補正含む)説明

文化スポーツ部・健康福祉部・教育委員会

事業名	幼児教育の質向上・課題解決事業費			新規・ 継続の別	継 続
	予算額	国 庫	起 債	その他	一般財源
		8,000千円	4,000	—	—
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	1 目 的 京都府の幼児教育推進の拠点として設置した京都府幼児教育センターを中心に、幼児教育無償化に伴う公的投資の増額に見合った幼児教育の質の向上や、小学校教育への円滑な接続を図る。				
	2 内 容 (単位：千円)				
	事 項		内 容		事業費
	幼児教育の推進		幼児教育関係機関と連携し、円滑な幼小接続に向けたカリキュラムの充実や効果的な幼児教育の在り方を研究するなど、幼児教育の質の向上を図る。		1,400
幼児教育アドバイザーの配置		幼児教育の専門的な知見や豊富な実践経験などを有する幼児教育アドバイザーを配置し、幼児教育・保育施設への巡回助言や研修を行う。		6,600	
		計		8,000	
担当課名	学校教育課 幼児教育推進係 文教課 幼稚園・専修学校係 こども・青少年総合対策室 保育・子育て支援係		電話番号	075-414-5672 075-414-4518 075-414-4581	

令和3年度当初予算案主要事項(令和2年度2月補正含む)説明

教育委員会

事業名	幼児教育施設支援体制整備事業費			新規・ 継続の別	新規												
予算額	32,000千円 (うち2月補正 32,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源												
		32,000	—	—	—												
事業内容	<p>1 目的</p> <p>公立幼稚園において、新型コロナウイルス感染症対策を実施しつつ、幼児を健やかに育むことの出来る環境の整備を推進する。</p> <p>2 内容 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立幼稚園の感染症対策の実施</td> <td>感染防止対策を徹底するため、消毒液、サーキュレーター等の保健衛生用品の購入に係る経費を補助</td> <td>11,000</td> </tr> <tr> <td>公立幼稚園のICT環境の整備</td> <td>オンラインによる教員研修や保育参観等を実施するため、ICT環境整備に要する経費を補助</td> <td>21,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>32,000</td> </tr> </tbody> </table>					事項	内容	事業費	公立幼稚園の感染症対策の実施	感染防止対策を徹底するため、消毒液、サーキュレーター等の保健衛生用品の購入に係る経費を補助	11,000	公立幼稚園のICT環境の整備	オンラインによる教員研修や保育参観等を実施するため、ICT環境整備に要する経費を補助	21,000	計		32,000
事項	内容	事業費															
公立幼稚園の感染症対策の実施	感染防止対策を徹底するため、消毒液、サーキュレーター等の保健衛生用品の購入に係る経費を補助	11,000															
公立幼稚園のICT環境の整備	オンラインによる教員研修や保育参観等を実施するため、ICT環境整備に要する経費を補助	21,000															
計		32,000															
担当課名	学校教育課 幼児教育推進係 保健体育課 健康安全教育振興係	電話番号	075-414-5672 075-414-5872														

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教 育 委 員 会

事業名	子どもの未来を守る事業費			新規・継続の別	継 続
予算額	228,613千円	国庫	起債	その他	一般財源
		104,196	—	—	124,417
事業内容 〔 目 的 〕 〔 対 象 〕 〔 方 法 等 〕	1 目 的 すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していけるよう、施策を推進する。				
	2 内 容 (単位：千円)				
	事 項	内 容			事業費
	京都式「学力向上教育サポーター」事業 拡充	「まなび・生活アドバイザー」を配置・派遣し、福祉関係機関等との連携により貧困家庭へきめ細かな支援を実施			187,240
	小学生個別補充学習実施事業 拡充	学習内容が高度化する小学4・5年生段階のつまずきを解消するため、個別補充学習を実施			27,407
	府立高校「セカンドラーニング教室」設置事業	府立高校の中退を防止するため、学力に課題のある生徒を対象に個別指導を実施			1,000
	地域未来塾	学習が遅れがちな中学生等を対象とした、地域住民の協力による学習支援を行う「地域未来塾」を支援			9,766
	家庭教育アドバイザーの配置	子育てピア(子育て世代包括支援センター)等と連携し、家庭教育に悩みや不安を抱える家庭への訪問など、就学前から就学後にわたって切れ目のない支援を実施			3,200
計				228,613	
担当課名	学校教育課 指導第1係 指導第2係 高校教育課 指導第2係 社会教育課 企画振興係 社会教育主事	電話番号		075-414-5833 075-414-5840 075-414-5852 075-414-5884 075-414-5885	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

文化スポーツ部・教育委員会

事業名	いじめ防止・不登校支援等 総合推進事業費		新規・ 継続の別		継 続	
	予算額	587,444千円	国庫	起債	その他	一般財源
			347,875	-	-	239,569
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	1 目 的 いじめ、不登校、問題行動などが社会問題となっていることを踏まえ、学校等における問題の早期発見・早期対応、児童生徒・保護者からの相談への対応など総合的なサポート体制の充実を図る。					
	2 内 容 (単位：千円)					
	事 項		内 容		事 業 費	
	○未然防止から早期解消に向けて					
	いじめ未然防止・早期解消支援チームの派遣	専門家等によるチームが学校の対応状況の点検や第三者的立場で解決に向けた調整を実施			1,000	教
	○早期発見・相談体制					
	スクールカウンセラーの配置・派遣 ^{拡充}	臨床心理士による児童生徒・保護者、教職員へのカウンセリング			305,135	教
	心の居場所サポーターの配置 ^{拡充}	相談室等で相談・学習支援を行うため心の居場所サポーターを配置			202,739	教
	24時間電話相談等の実施	24時間電話相談、トータルアドバイスセンター教育相談、家庭教育相談等の実施			28,682	教
	SNSを活用した相談体制の構築 ^{拡充}	公立・私立の中学生・高校生を対象に、SNSを活用した相談事業を京都市と協働で実施			11,691	教 文
	京都府私学修学支援相談センターへの支援	いじめ問題等の解決を促進するため、私立学校が共同設置する相談機関へ助成			4,500	文
	「もう一つの教室」モデル構築事業	小学校において、別室登校している児童の状況に応じ、個別最適化した支援を実施			871	教
	○早期解決に向けた対応					
	いじめ早期対応緊急指導教員の配置	いじめにより大きな課題が生じている学校に緊急に教員（非常勤講師）を配置し、学校体制を強化			-	教
	○重大事案への対応					
	学校問題対策チームの設置	いじめや虐待等の重大事案に対して、法律や心理学等の専門家を中心としたチームを事務局に設置			1,000	教
	いじめ危機管理チームの派遣	深刻ないじめ事象が発生した学校へ、学校機能の回復や支援を行うためのチームを派遣			1,000	教
	○組織の設置					
	いじめ対応のための附属機関等の設置	いじめ防止対策推進法に規定する調査審議の実施及び重大事態の調査を実施する附属機関等を設置			1,576	文 教
	○不登校対策の充実					
不登校児童生徒支援拠点整備事業 ^{拡充}	市町村の教育支援センターにスクールカウンセラー等の専門家の配置等を行い、不登校児童生徒支援の拠点として機能を拡充			18,000	教	
不登校児童生徒に対する支援体制整備事業	教育支援センターを中心とした教育委員会、関係機関等との連携による不登校児童生徒の支援体制を整備			5,400	教	
フリースクール連携推進事業	府認定フリースクールが実施する、学校と連携した教育活動へ助成			3,000	教	
ふれあい宿泊学習の実施				2,850	教	
計				587,444		
担当課名	文 教 課 学校教育課 高校教育課 社会教育課	小・中・高校係 指導第2係 指導第1係 社会教育主事	電 話 番 号		075-414-4517 075-414-5840 075-414-5851 075-414-5889	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	地域一体型部活動推進事業費		新規・ 継続の別	一部新規														
予算額	38,000千円	国庫	起債	その他	一般財源													
		17,000	—	—	21,000													
事業内容	<p>1 目的 学校部活動支援のため、学校の実態に応じた外部人材を配置するとともに、質の高い部活動を確保する体制を地域と一体で構築するため、拠点校（地域）において実践研究を実施する。</p> <p>2 内容 (1) 京都式「部活動サポート」事業 拡充 部活動の支援のため、学校の実態に応じた外部人材を配置</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>部活動指導員</td> <td>外部指導者</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動 内容</td> <td colspan="2">生徒への指導方法や競技の技術力にスキルを有する者が技術指導等を実施</td> </tr> <tr> <td>技術指導、引率指導</td> <td>技術指導</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">配置 人数</td> <td>中学校 70人程度</td> <td>中学校 80人程度</td> </tr> <tr> <td>高等学校 10人程度</td> <td>高等学校 70人程度</td> </tr> </table> <p>(2) 地域一体型部活動推進事業 新規 拠点校（地域）において、地域で部活動を担うための人材や運営団体の確保等の課題を整理するため、実践研究を実施</p>						部活動指導員	外部指導者	活動 内容	生徒への指導方法や競技の技術力にスキルを有する者が技術指導等を実施		技術指導、引率指導	技術指導	配置 人数	中学校 70人程度	中学校 80人程度	高等学校 10人程度	高等学校 70人程度
	部活動指導員	外部指導者																
活動 内容	生徒への指導方法や競技の技術力にスキルを有する者が技術指導等を実施																	
	技術指導、引率指導	技術指導																
配置 人数	中学校 70人程度	中学校 80人程度																
	高等学校 10人程度	高等学校 70人程度																
担当課名	学校教育課 指導第1係 保健体育課 学校体育係	電話番号	075-414-5833 075-414-5875															

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	京都府版マスターズ大会開催費		新規・継続の別		継 続	
	国 庫	起 債	その他	一般財源		
予算額	8, 100千円		—	—	—	8,100
事業内容	<p>1 目 的 京都府民総合体育大会にマスターズ部門を設置し、より多くの成年・中高年の健康増進や生涯スポーツ推進に寄与するとともに、関西ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けた機運の醸成を図る。</p> <p>2 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 参加対象者 おおむね50歳以上の府民 ○ 実施形態 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市町村対抗競技 13種目 府民総合体育大会のうち、市町村予選会が実施される競技にマスターズ部門を設置 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、軟式野球、バドミントン、ソフトボール サッカー、ボウリング、ゲートボール、陸上競技、グラウンドゴルフ、ゴルフ </div> <ul style="list-style-type: none"> ア 市町村予選会 府内26市町村の対抗により、市町村代表を選出 イ 府大会 市町村予選会で選出された代表の対抗戦 (2) 種目別競技 10種目 府民総合体育大会のうち、市町村予選会が実施されない競技にマスターズ部門を設置 					
担当課名	保健体育課 スポーツ振興係		電話番号		075-414-5864	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	京のアスリート育成・強化総合推進費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	244,200千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	8,000	236,200
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目 的 競技人口の拡大・普及からトップアスリートの育成まで、各段階における京都ゆかりのスポーツ選手を育て、府内の競技力向上を図る。				
	2 内 容 (単位：千円)				
	■ 競技人口の拡大・普及		27,900千円		
	アカデミー推進事業	競技団体が府内ジュニア選手を定期的に一堂に集め、練習会や合宿を実施			
	ジュニア指導者講習	高校生等のジュニアトップ選手に対して日常的に指導を行う地域の指導者を育成			
	■ 国体選手強化と8位以内入賞		191,100千円		
	合宿・強化練習支援	府内の競技団体への年間を通じた合宿、強化練習に関わる経費を支援			
	京とアスをつなぐ 応援サポート事業	企業が支える社会人選手の活動経費の一部を補助することにより選手を育成・強化			
	■ 国際大会への出場と活躍		23,500千円		
	京のメダリスト創生	国内トップレベルの競技力を有し、将来、オリンピック等でのメダル獲得の可能性のある選手等を支援			
タレント発掘・育成	各種プログラムを実施することにより、国際大会でのメダル獲得を目指すジュニア選手を発掘・育成				
■ 府競技力向上対策本部主導事業		1,700千円			
国体選手等派遣	府民に対するスポーツの啓発、地域スポーツの推進を図るため、国体指定選手、監督、コーチを地域スポーツクラブや学校へ派遣				
スポーツ医・科学 サポート事業	選手の自己の健康管理等の資質を高め、効果的な強化活動を実施				
担当課名	保健体育課 スポーツ振興係		電話番号	075-414-5864	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	高校生等修学支援事業費		新規・継続の別		継 続																									
	5,394,434千円 (うち2月補正 107,000千円)	国 庫	起 債	その他	一般財源																									
予算額		3,912,220	—	1,479,945	2,269																									
事業内容 (目 的 対 象 方法等)	<p>1 目 的 教育の機会均等を図るため、修学資金や就学支援金などにより高校生の修学を支援する。</p> <p>2 内 容 (単位：千円)</p>																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高等学校等修学資金貸与</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・修学金（月額、上限） 国公立 自宅通学 18,000円 自宅外通学 23,000円 私 立 自宅通学 30,000円 自宅外通学 35,000円 ・修学支度金（入学一時金、定額） 国公立 50,000円 私 立 250,000円 </td> <td>1,056,771</td> </tr> <tr> <td>公立高校就学支援金</td> <td>所得基準未滿の世帯に対し、就学支援金により授業料を実質無償化</td> <td>3,605,638</td> </tr> <tr> <td>奨学のための給付金 拡充</td> <td>低所得世帯に対して、授業料以外の教育費（オンライン学習に必要な通信費相当額を含む）を給付 （国公立高校等）32,300～141,700円／年</td> <td>708,942 (うち2月補正107,000)</td> </tr> <tr> <td>高等学校生徒通学費補助</td> <td>多額の通学費を要する生徒の保護者負担を軽減するための補助</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>定通修学奨励金貸与</td> <td>定時制・通信制課程に通う生徒への修学奨励金の貸与</td> <td>9,991</td> </tr> <tr> <td>定通教科書等補助</td> <td>定時制・通信制課程に通う生徒への教科書購入費の補助</td> <td>3,310</td> </tr> <tr> <td>「学び直し」応援事業</td> <td>高校等中途退学者の学び直しに係る授業料を支援</td> <td>1,782</td> </tr> </tbody> </table>						事 項	内 容	事業費	高等学校等修学資金貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・修学金（月額、上限） 国公立 自宅通学 18,000円 自宅外通学 23,000円 私 立 自宅通学 30,000円 自宅外通学 35,000円 ・修学支度金（入学一時金、定額） 国公立 50,000円 私 立 250,000円 	1,056,771	公立高校就学支援金	所得基準未滿の世帯に対し、就学支援金により授業料を実質無償化	3,605,638	奨学のための給付金 拡充	低所得世帯に対して、授業料以外の教育費（オンライン学習に必要な通信費相当額を含む）を給付 （国公立高校等）32,300～141,700円／年	708,942 (うち2月補正107,000)	高等学校生徒通学費補助	多額の通学費を要する生徒の保護者負担を軽減するための補助	8,000	定通修学奨励金貸与	定時制・通信制課程に通う生徒への修学奨励金の貸与	9,991	定通教科書等補助	定時制・通信制課程に通う生徒への教科書購入費の補助	3,310	「学び直し」応援事業	高校等中途退学者の学び直しに係る授業料を支援	1,782
	事 項	内 容	事業費																											
	高等学校等修学資金貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・修学金（月額、上限） 国公立 自宅通学 18,000円 自宅外通学 23,000円 私 立 自宅通学 30,000円 自宅外通学 35,000円 ・修学支度金（入学一時金、定額） 国公立 50,000円 私 立 250,000円 	1,056,771																											
	公立高校就学支援金	所得基準未滿の世帯に対し、就学支援金により授業料を実質無償化	3,605,638																											
	奨学のための給付金 拡充	低所得世帯に対して、授業料以外の教育費（オンライン学習に必要な通信費相当額を含む）を給付 （国公立高校等）32,300～141,700円／年	708,942 (うち2月補正107,000)																											
	高等学校生徒通学費補助	多額の通学費を要する生徒の保護者負担を軽減するための補助	8,000																											
	定通修学奨励金貸与	定時制・通信制課程に通う生徒への修学奨励金の貸与	9,991																											
	定通教科書等補助	定時制・通信制課程に通う生徒への教科書購入費の補助	3,310																											
	「学び直し」応援事業	高校等中途退学者の学び直しに係る授業料を支援	1,782																											
担当課名	高校教育課 修学支援係		電話番号	075-574-7518																										

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	教職員の働き方改革推進費		新規・継続の別	継 続	
予算額	1, 253, 622千円	国庫	起債	その他	一般財源
		787,109	—	—	466,513
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	1 目 的 教育の質を高めるため、教職員の意識改革を行うとともに、外部人材の活用などにより、教員が授業や授業準備等に集中できる環境を構築する。				
	2 内 容 （単位：千円）				
	事 項	内 容		事業費	
	小学校英語教育推進教員の配置	配置校で英語授業を実施するとともに、公開授業や研修を通じて、小学校英語教育を先導する教員を配置（40名程度）		212,880	
	スクール・サポート・スタッフの配置 拡充	教員の事務作業や校内の消毒等の補助のため、小・中・高校・特別支援学校全校に配置		508,607	
	スクールカウンセラーの配置・派遣 拡充	学校に配置・派遣し、教育相談体制を構築		305,135	
	まなび・生活アドバイザーの配置・派遣 拡充	学校に配置・派遣し、学校と福祉関係機関等との連携体制を構築		187,240	
	スクールロイヤーの配置	いじめや虐待、学校事故等への対応等に係る諸課題解決のための法務専門家を配置		1,000	
	地域一体型部活動推進事業費 拡充	地域と連携した部活動の推進に向けた体制整備のため、府内公立学校に部活動指導員等を配置（80名程度）		38,000	
	京都式「チーム学校」推進費	複雑化・多様化する教育課題に的確に対応していく京都式「チーム学校」を推進するとともに、学校現場における業務改善、教員の負担軽減対策等の教職員の働き方改革を推進		760	
計			1,253,622		
担当課名	教職員企画課 服務・安全衛生係 教職員人事課 人 事 係 学校教育課 指 導 第 2 係 高校教育課 指 導 第 1 係 保健体育課 学 校 体 育 係	電話番号	075-414-5802 075-414-5799 075-414-5840 075-414-5851 075-414-5875		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	府立学校施設整備費		新規・継続の別		継 続	
	予 算 額	国 庫	起 債	そ の 他	一 般 財 源	
	3,118,000千円 (R4債務負担行為 143,000千円)	—	3,105,000	—	13,000	
事業内容 （ 目 的 ） （ 対 象 ） （ 方 法 等 ）	<p>1 新設特別支援学校建設費(井手地区) 229,000千円 【詳細：資料-25-1】</p> <p>2 向日が丘支援学校校舎等整備費 211,000千円 【詳細：資料-25-2】</p> <p>3 学校施設長寿命化推進費 1,401,000千円 (R4債務負担行為額 143,000千円) 学校施設の計画的な改修による長寿命化の推進</p> <p>4 府立高校トイレ洋式化推進事業費 742,000千円 各高校1棟、トイレ改修を平成30年度から5箇年で実施</p> <p>5 老朽校舎等改修費等 535,000千円 老朽化した学校施設の改修工事等を実施</p>					
担当課名	管理課 管理係	電話番号		075-414-5768		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	新設特別支援学校建設費（井手地区）		新規・継続の別		継 続																	
	229,000千円	国庫	起債	その他	一般財源																	
予算額			—	225,000	—	4,000																
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 目的 山城地域の特別支援学校における児童生徒の急増に対応するため、井手町と連携協力のもと、特別支援学校を新設する。</p> <p>2 内容 特別支援学校新設に係る校舎建設工事及び備品整備を行う。</p> <p>3 概要</p> <p>(1) 建設予定地 綴喜郡井手町大字井手小字大塚他 (2) 設置学部等 小学部、中学部、高等部（知的障害・肢体不自由） (3) 児童生徒数 200人程度 (4) 開校時期 令和4年4月（予定）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次計画</th> <th>概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>地質調査・造成設計</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>校舎基本設計、埋文調査、用地取得、造成工事</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>造成工事、校舎実施設計、埋文調査</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>造成工事</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>校舎建設工事</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>校舎建設工事</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>校舎建設工事、備品整備</td> </tr> </tbody> </table>						年次計画	概 要	平成27年度	地質調査・造成設計	平成28年度	校舎基本設計、埋文調査、用地取得、造成工事	平成29年度	造成工事、校舎実施設計、埋文調査	平成30年度	造成工事	令和元年度	校舎建設工事	令和2年度	校舎建設工事	令和3年度	校舎建設工事、備品整備
	年次計画	概 要																				
平成27年度	地質調査・造成設計																					
平成28年度	校舎基本設計、埋文調査、用地取得、造成工事																					
平成29年度	造成工事、校舎実施設計、埋文調査																					
平成30年度	造成工事																					
令和元年度	校舎建設工事																					
令和2年度	校舎建設工事																					
令和3年度	校舎建設工事、備品整備																					
担当課名	管 理 課 管 理 係 特別支援教育課 企画調整係	電話番号		075-414-5768 075-414-5834																		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	向日が丘支援学校校舎等整備費		新規・ 継続の別	継 続																						
予算額	211,000千円	国庫	起債	その他	一般財源																					
		—	207,000	—	4,000																					
事業内容	<p>1 目 的 「向日が丘支援学校改築基本構想」に基づき、校舎等を全面改築するとともに、長岡京市の共生型福祉施設構想と連携した教育と福祉の総合的な連携による切れ目のない支援の実現に向けて教育環境を充実させる。</p> <p>2 内 容 向日が丘支援学校の改築工事の基本設計及び実施設計を行うとともに、仮校舎を整備するための実施設計を行う。</p>																									
	<p>3 概 要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次計画</th> <th>概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H31</td> <td>基本構想策定、用地測量</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>基本・実施設計</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>基本・実施設計、仮設校舎改修実施設計</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>埋蔵文化財調査（R4～）、解体実施設計、仮設校舎改修工事</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>解体工事（R5～）、仮設校舎借用（R5～）</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>建設工事（R6～）</td> </tr> </tbody> </table> <p>（参考）向日が丘支援学校 概要</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>開校年度</td> <td>昭和42年4月</td> </tr> <tr> <td>障害種別</td> <td>知的障害、肢体不自由</td> </tr> <tr> <td>設置部</td> <td>小学部、中学部、高等部（普通科）</td> </tr> <tr> <td>校 区</td> <td>向日市・長岡京市・大山崎町</td> </tr> </tbody> </table>					年次計画	概 要	H31	基本構想策定、用地測量	R2	基本・実施設計	R3	基本・実施設計、仮設校舎改修実施設計	R4	埋蔵文化財調査（R4～）、解体実施設計、仮設校舎改修工事	R5	解体工事（R5～）、仮設校舎借用（R5～）	R6	建設工事（R6～）	開校年度	昭和42年4月	障害種別	知的障害、肢体不自由	設置部	小学部、中学部、高等部（普通科）	校 区
年次計画	概 要																									
H31	基本構想策定、用地測量																									
R2	基本・実施設計																									
R3	基本・実施設計、仮設校舎改修実施設計																									
R4	埋蔵文化財調査（R4～）、解体実施設計、仮設校舎改修工事																									
R5	解体工事（R5～）、仮設校舎借用（R5～）																									
R6	建設工事（R6～）																									
開校年度	昭和42年4月																									
障害種別	知的障害、肢体不自由																									
設置部	小学部、中学部、高等部（普通科）																									
校 区	向日市・長岡京市・大山崎町																									
担当課名	管 理 課 特別支援教育課	管 理 係 企画調整係	電話番号	075-414-5768 075-414-5834																						

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	コミュニティ・スクール推進費			新規・ 継続の別	新規
予算額	7,292千円	国庫	起債	その他	一般財源
		490	—	—	6,802
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 目的</p> <p>学校、保護者、地域等が教育の目標やビジョンを共有し、地域に開かれた魅力ある学校づくりを実現するため、府内公立学校における「コミュニティ・スクール（※）」の本格導入を促進</p> <p>※学校と地域住民等が協働で学校運営を協議し、意見を述べられる「学校運営協議会」を設置する学校</p> <p>2 内容 （単位：千円）</p>				
	事 項	内 容			事業費
	府立学校におけるコミュニティ・スクールの導入 <再掲>	府立高校・特別支援学校において、コミュニティ・スクールを本格導入			5,292
	小・中学校におけるコミュニティ・スクール導入支援	小・中学校におけるコミュニティ・スクールの導入促進に向けて、実施校のない市町（組合）教育委員会に対して補助			2,000
計					7,292
担当課名	学校教育課 特別支援教育課 高校教育課	指導第1係 指導推進係 振興係	電話番号	075-414-5833 075-414-5835 075-414-5815	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	子どものための地域連携事業費		新規・継続の別		継 続	
	予算額	63,201千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
			30,851	—	—	32,350
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 目 的</p> <p>幅広い地域住民や地域の多様な機関・団体等の参画を得て、地域社会全体で子どもの成長を支える様々な地域学校協働活動の統合・ネットワーク化の推進を図る。</p> <p>2 内 容</p> <p>(1)市町村実施事業（補助事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校における働き方改革を踏まえた活動 <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の見守り ・学校行事補助 ・児童生徒の休み時間における対応 ・校内清掃指導 等 ○地域における学習支援・体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等の体験活動・学習活動（京のまなび教室） ・学習が遅れがちな中学生等を対象とした地域住民の協力による学習支援（地域未来塾） ・土曜日等に地域の企業、団体等の協力を得て行う教育活動 ・郷土学習 等 <p>(2)府実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域学校協働活動推進委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 地域社会で子どもをはぐくむ事業の効果的な推進方策を検討 ○地域学校協働活動推進員養成・スキルアップ講座等の実施 <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働本部とコミュニティ・スクールが一体となり連携 ・協働の取組を推進していく体制づくりの中心的役割を担う地域学校協働活動推進員の養成講座等を開催 					
担当課名	社会教育課	企画振興係 社会教育主事	電話番号		075-414-5883 075-414-5885	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	家庭教育支援事業費			新規・継続の別	継 続	
	予算額	国 庫	起 債	その他	一般財源	
	6,700千円	2,666	—	—	4,034	
事業内容 〔 目 的 〕 〔 対 象 〕 〔 方法等 〕	1 目 的 家庭教育はすべての教育の出発点であり、保護者が自信を持ち安心して子どもの教育にかかわれるよう、福祉や地域社会等と連携し、家庭教育を支援する。					
	2 内 容 (単位：千円)					
	事 項		内 容		事業費	
	地域で支える家庭教育支援事業				5,200	
	家庭教育アドバイザーの配置		子育てピア(子育て世代包括支援センター)等と連携し、家庭教育に悩みや不安を抱える家庭への訪問など、就学前から就学後にわたって切れ目のない支援を実施		3,200	
	家庭教育支援基盤構築事業		家庭教育に関する情報や保護者向けの学習機会の提供、地域での相談活動、府家庭教育支援協議会の設置、指導者等研修を実施		2,000	
	保護者のための学習活動支援事業		家庭教育に関する学習資料を作成し、保護者の活動を支援		600	
	少年非行防止対策事業		インターネットやSNSにおけるいじめ、薬物乱用などの現代的課題について、PTA等と連携した研修会等を実施		900	
			計		6,700	
	担当課名	社会教育課	企画振興係 社会教育主事	電話番号	075-414-5884 075-414-5889	

令和3年度当初予算案主要事項(令和2年度2月補正含む)説明

教育委員会

事業名	高校生伝統文化事業費		新規・継続の別		継 続									
	15,640千円	国 庫	起 債	その他	一般財源									
予算額	15,640千円	—	—	—	15,640									
事業内容 (目 的 対 象 方法等)	<p>1 目 的 日本・郷土の伝統文化を尊重する態度の育成にあたり、京都府にゆかりの深い茶道や華道、古典など様々な有形・無形の文化財に関する学習に取り組み、伝統文化への関心を高めるとともに、豊かに生きる力をはぐくむ。</p> <p>2 内 容 茶道・華道・古典など文化財に関する学習を通して、伝統文化を尊重する態度を育成する。</p> <p>○京都の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心の育成 ○礼儀作法を通じての、規範意識や社会性の育成 ○人を思いやり、尊重する心の育成 ○豊かな感性、情緒の育成 ○優れた価値を有する古典に親しむ心と態度の育成</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p>													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶道・華道・古典を通して伝統文化を学習</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■茶道 原則として全府立高校で実施 ■華道 府立高校20校程度で実施 ■古典 府立高校20校程度で実施 (連歌や和歌、邦楽、和装文化等) </td> <td style="text-align: center;">13,090</td> </tr> <tr> <td>京の文化継承・価値創造推進校</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■文化的建造物の見学や地域文化のフィールドワーク ■和服の着付けや和装の製作発表 ■発展的体験を通じ伝統文化を発信 </td> <td style="text-align: center;">2,550</td> </tr> </tbody> </table>						事 項	内 容	事業費	茶道・華道・古典を通して伝統文化を学習	<ul style="list-style-type: none"> ■茶道 原則として全府立高校で実施 ■華道 府立高校20校程度で実施 ■古典 府立高校20校程度で実施 (連歌や和歌、邦楽、和装文化等) 	13,090	京の文化継承・価値創造推進校	<ul style="list-style-type: none"> ■文化的建造物の見学や地域文化のフィールドワーク ■和服の着付けや和装の製作発表 ■発展的体験を通じ伝統文化を発信
事 項	内 容	事業費												
茶道・華道・古典を通して伝統文化を学習	<ul style="list-style-type: none"> ■茶道 原則として全府立高校で実施 ■華道 府立高校20校程度で実施 ■古典 府立高校20校程度で実施 (連歌や和歌、邦楽、和装文化等) 	13,090												
京の文化継承・価値創造推進校	<ul style="list-style-type: none"> ■文化的建造物の見学や地域文化のフィールドワーク ■和服の着付けや和装の製作発表 ■発展的体験を通じ伝統文化を発信 	2,550												
担当課名	高校教育課 指導第2係	電話番号		075-414-5852										

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	高校生「京の文化力」推進事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	7,980千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		—	—	—	7,980
事業内容	<p>1 目 的 府立高校の文化部活動への支援等を通じて、京都文化の次世代への継承を図るとともに、京都ならではの文化をはぐくむ。</p> <p>2 内 容 (単位：千円)</p>				
	<p>〔 目 的 対 象 方法等 〕</p>	事 項	内 容	事業費	
	文化の次世代への継承	<ul style="list-style-type: none"> ■高校文化部の強化指定による育成 <ul style="list-style-type: none"> ・強化・育成を目指す高校の文化部を指定（19部門） ・高い専門性を有する外部指導者による指導 ■強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加 	3,230		
	芸術文化活動の推進・京都府高等学校文化連盟への助成	<ul style="list-style-type: none"> ■京都府高等学校総合文化祭の開催 ■各部門の優秀校による発表等 	4,750		
<p>「 <<19部門>> 」</p> <p>演劇、合唱、吹奏楽、器楽、邦楽、バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、吟詠剣詩舞、郷土芸能、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、茶道、自然科学</p>					
担当課名	高校教育課 指導第2係		電話番号	075-414-5852	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

文化スポーツ部・商工労働観光部・教育委員会

事業名	文化財保存活用支援事業費		新規・継続の別		継続	
	国庫	起債	その他	一般財源		
予算額	167,600千円		3,200	142,000	-	22,400
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 「京都府文化財保存活用大綱」の策定や文化庁移転等を踏まえ、文化財の「保存」と「活用」の両輪により府内文化財を後世に継承するため、府内文化財の修理等に対する助成や文化・観光と連携した文化財の活用を支援する取組等を実施					
	2 内容 (単位:千円)					
	事業名		内容		事業費	
	文化財活用支援事業費	文化財保存活用調査③	指定・登録・暫定登録等による保存の促進や活用に向けた検討のため、未指定文化財も含む府内文化財の調査等を実施		7,500	
		日本博と連携した郷土資料館における特別展等③	文化庁「日本博」と連携し、山城・丹後郷土資料館において、ナイトミュージアムや特別展等を実施		2,100	
		文化資源を活用したツアー造成等 ②・③ <一部再掲>	文化観光連携ネットワークの構築と、文化観光コンテンツを活用したツアーの実施 国宝・重要文化財修理現場の公開とツアーの実施		9,000	
		文化財活用推進補助事業① <再掲>	文化財を活用し、人が集まり文化に親しむ取組を支援		4,000	
府指定文化財等保存修理事業費		府指定文化財等保存修理事業③	「府指定・登録・暫定登録文化財」等の保存修理や維持管理等(防犯・防災対策を含む)に対する助成		145,000	
		合 計		167,600		
担当課名	①文化政策室 政策推進係 文化芸術課 地域文化振興係 ②観光室 地域観光振興係 ③文化財保護課 企画調整係		電話番号	075-414-4521 075-414-4279 075-414-4841 075-414-5896		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

文化スポーツ部・教育委員会

事業名	文化財保護強化事業費		新規・継続の別		継続		
	国庫	起債	その他	一般財源			
予算額	210,000千円		—	203,000	—	7,000	
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 府内の貴重な文化財を災害破損・流出防止等の観点から早期保護を図るため、文化財等の保存修理や防犯・防災対策としての整備に対する助成等を実施						
	2 内容 （単位：千円）						
	事業名	内容				事業費	
	府指定文化財等保存修理事業費② ＜再掲＞	「府指定・登録・暫定登録文化財」等の保存修理や維持管理等（防犯・防災対策を含む）に対する助成				145,000	
	未指定文化財保存修理事業費①	未指定であっても貴重な文化資料等の保存修理等に対する助成				65,000	
合 計					210,000		
担当課名	①文化政策室 ②文化財保護課	政策推進係 企画調整係 建造物係 美術工芸・民俗・無形文化財係 記念物係	電 話 番 号		075-414-4521 075-414-5896 075-414-5898 075-414-5905 075-414-5903		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	歴史的建造物等保存伝承事業費		新規・継続の別		継続	
	予 算 額	国 庫	起 債	そ の 他	一般財源	
	1,345,151千円 (R4債務負担行為 361,000千円)	23,701	—	1,265,050	56,400	
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	1 目 的 文化財を良好な状態で後世に継承するため、建造物等の保存修理や文化財維持管理等に要する経費の補助等を実施					
	2 内 容 (単位:千円)					
	事業名		内 容		事業費	
	建造物保存修理受託事業費		国指定文化財建造物の受託修理		1,265,050 (R4債務負担行為 361,000)	
	国指定文化財等保存修理・維持管理費補助金		国指定文化財等所有者が行う保存修理・維持管理事業等に補助		57,000	
	祇園祭山鉾保存修理事業費等補助金		重要有形民俗文化財である山鉾について山鉾保存会が行う緊急修理の負担軽減等		7,499	
	重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金		重要伝統的建造物群保存地区保存事業を行う市町に対する補助		6,900	
	京都の史跡・埋蔵文化財活用事業費		国史跡恭仁宮跡や府内の文化財を活用し、ツアー等を実施		5,402	
	文化財巡視事業費		文化財の管理状況等について巡視・指導助言を実施		3,300	
			計		1,345,151	
担当課名	文化財保護課	企画調整係 建造物係 美術工芸・民俗・無形文化財係 記念物係	電話番号	075-414-5896 075-414-5898 075-414-5905 075-414-5903		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	歴史的建造物等保存伝承事業費 (建造物保存修理受託事業費)		新規・継続の別		継続		
	予算額	国庫	起債	その他	一般財源		
	1,265,050千円 (R4債務負担行為361,000千円)	—	—	1,265,050	—	—	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	◆ 京都府内の国宝・重要文化財建造物を受託修理 1 目的 国庫補助を受けて行われる国宝・重要文化財建造物の保存修理について、文化財所有者からの委託を受けて、府が直営により実施 2 事業内容						
	文化財の名称		種別	工事種別	3年度の主な内容		
	ほんりゆうじ ほんどう 本隆寺（本堂他）		重文	半解体修理 ほか	屋根瓦葺き、床組補修		
	みょうほういん くり 妙法院（庫裏）		国宝	半解体修理	屋根瓦取り解き、小屋組解体		
	だいたくじ ほうじょう 大徳寺（方丈他）		国宝 重文	半解体修理 ほか	屋根瓦取り解き、小屋組解体		
	とうふくじ じょうらくあんきやくでん ふ 東福寺（常楽庵客殿（普 もんいん）他）		重文	半解体修理 ほか	小屋組補修・組み立て		
	りょうしょういん ほんどう おもてもん 良正院（本堂及び表門）		重文	半解体修理	小屋組補修		
	ちようちくきよ ちゃしつ 聴竹居（茶室他）		重文	解体修理ほか	軸部組み立て、屋根葺き		
	ひようどういん ほうおうどうちゆうどう 平等院（鳳凰堂中堂）		国宝	塗装修理	内部彩色の剥落止め		
	ほんがんじ あみだどう 本願寺（阿弥陀堂他）		国宝 重文	部分・塗装 修理ほか	阿弥陀堂・唐門の塗装・表具 ・金具工事		
	じゅうはちじんじゃ ほんでん 十八神社（本殿）		重文	屋根葺替・ 部分修理	屋根こけら葺き、塗装工事		
	しょうごいん しょういん 聖護院（書院）		重文	屋根取替・ 部分修理	屋根瓦葺き		
	しょうでんさんそう しゅうらいこうどう 松殿山荘（修礼講堂及び 事務所）		重文	屋根取替・ 部分修理	軸部・小屋組補修		
こうりゆうじ 広隆寺（講堂他）		国宝 重文	屋根取替・ 部分修理	講堂の屋根瓦取り解き、野地 補修			
ほか5件		計17件		1,265,050千円			
担当課名	文化財保護課 建造物係		電話番号		075-414-5898		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	新型コロナウイルス感染症対策費			新規・継続の別	一部新規	
予算額	2,344,937千円 (うち2月補正 820,000千円)		国庫	起債	その他	一般財源
			2,272,617	—	—	72,320
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 児童生徒が安心・安全に学習できるよう、学校における新型コロナウイルス感染症の防止対策の徹底や、教員をサポートする専門人材等の体制を強化					
	2 内容 (単位：千円)					
	事項		内容		事業費	
	教育体制の緊急強化 777,925					
	①	スクール・サポート・スタッフの配置 拡充	教員の事務作業や校内の消毒等の補助のため、小・中・高校・特別支援学校全校に配置		480,107	
	②	スクールカウンセラーの配置・派遣 拡充	児童生徒等の心のケアの強化のため、配置・派遣回数を拡充		62,812	
	③	まなび・生活アドバイザーの派遣 拡充	福祉関係機関等とのきめ細かい連携のため、派遣回数を拡充		32,640	
	④	学習支援員及び心の居場所サポーターの配置 拡充	児童生徒の相談、学習支援等を実施するため、小・中学校全校に配置		202,366	
	学校衛生環境等の緊急対策 652,832					
	⑤	特別支援学校スクールバス過密化防止 新規	スクールバス過密化を防止するため、運行を増便		344,450	
	⑥	学校の裁量による感染防止対策等 新規	学校の裁量による実情に合わせた感染防止対策等を実施		244,000 (2月補正)	
	⑦	府立学校等の衛生環境の整備 新規	消毒液やマスク等の衛生用品を、府立学校等に追加配備		19,000	
	⑧	府立学校の夏季・冬季の授業への対応 新規	児童生徒が安心して授業を受けられるよう、空調管理を実施		45,382	
	学びのセーフティネット 914,180					
	⑨	府立学校等におけるスマートスクールの推進 拡充	低所得世帯等の生徒が利用するためのタブレット端末やモバイルルーターの整備等		714,600 (うち2月補正 469,000)	
⑩	奨学のための給付金及び就学奨励費による支援 拡充	低所得世帯等の生徒のオンライン通信費等の教育費負担を軽減		199,580 (うち2月補正 107,000)		
合 計 2,344,937						
担当課名	⑥ 総務企画課 ⑤⑧ 管理課 ①⑤ 教職員企画課 ②③④ 学校教育課 ⑨ ⑤⑨⑩ 特別支援教育課 ②⑨⑩ 高校教育課 ⑦ 保健体育課	予算係 管理係 企画調整係 企画振興係 ICT教育推進室 企画調整係 調整係 企画調整係	電話番号	075-414-5708 075-414-5768 075-414-5789 075-414-5831 075-414-5692 075-414-5834 075-414-5846 075-414-5861		